

1. 名称 (他のプログラムと容易に区別できること)
JCHO 大阪みなと中央病院 総合医育成・総合内科専門医準備プログラム

2. プログラム責任者			
氏名	辻 晋吾	指導医認定番号	2014-0959
所属・役職	JCHO 大阪みなと中央病院・副院長		
所在地・連絡先	住所 〒552-0021 大阪市港区築港 1-8-30 電話 06-6572-5721 FAX 06-6573-2531 E-mail Tsuji-shingo@minato.jcho.go.jp		
連絡担当者氏名*・役職			
連絡先*	電話	FAX	
	E-mail		

\* プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合にのみ記載

3. 後期研修医定員
1年あたり ( 3 ) 名 (×研修期間年数=総定員 9名)
※総合診療専門研修 I および II において、日本プライマリ・ケア連合学会専門医・認定医認定制度要綱 28 条に定める常勤指導医を、その部署で同時に研修する後期研修医 3 名に対して 1 名以上配置できる人数に留めること。例えば、総合診療専門研修 I が 9 カ月の場合、3 名ずつが 9 カ月毎にローテートするならば、3 年=36 カ月のプログラムで 1 年あたり最大 4 名 (36÷9=4) まで受け入れ可能となる。

4. プログラムの期間
( 3 ) 年間

## 5. 概要

### A. プログラムを展開する場や医療施設の地域背景や特長

大阪市は人口の高齢化が他に比べ進んでおり、特に独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO)大阪みなと中央病院が位置する港区・周辺諸区では独居老人も多く在宅医療が盛んである。また利便性、居住費の点から、介護・老健施設も多いほか、若年者夫婦が集まりやすく小児の急性期疾患も多い傾向にある。一方、JCHOは医師育成理念に総合医育成を掲げている。このようにJCHO大阪みなと中央病院は総合医に求められる経験が達成しやすく今後総合医が活躍すべき地域にあるため、本プログラムを実施し総合医育成にあたりたい。

### B. プログラムの理念、全体的な研修目標

理念：正しく行動し考える事のできる総合医を育成する。

研修目標：医療は不確実である。診療を求める患者を正しく診断し適切な治療に導くことは医療人として当然であるが、同じ病気であっても患者の年齢、性別、基礎疾患、患者を取り囲む社会的要因などを考慮しなければ結果的に正しい医療とならない事がありうる。単に総合内科専門医として広範な医学的知識と高い医療技術を持つだけでなくこれらの諸要因をも考慮し患者が抱える問題を解決しうる能力を育てる事が本プログラムの目標である。

基本的に本プログラムでは日本プライマリ・ケア連合学会認定医資格の取得と日本内科学会総合内科専門医受験資格の基礎となる知識、技能、経験の取得を目指す。

### C. 各ローテーション先で学べる内容や特色

内科研修：内科全般の医学的知識、医療技術を習得する。症例については内科全体カンファで各専門領域の指導医の意見をj得て習得した知識・技術を整理・組織化する。

総合診療研修 I：可児とうのう病院において在宅医療、特別養護老人ホームでの診療、学校医活動、地域連携等について経験を積み研修を行う。

総合診療研修 II：当院の内科総合診療部門、救急部門での初診診療業務・入院診療、地域の介護・老健施設、在宅医療医師群との医療連携の実際等を中心に研修を実施する。

小児科研修：当院小児科において学童期以下・学童期の患者に対する初診・救急診療、入院診療を行う。

救急科研修：星ヶ丘医療センター救急部において、脳卒中、内科全般、整形外科、小児科等の救急医療を経験する。

### D. 指導体制に関する特長

総合医研修志望者中、将来的に内科を標榜する者については、総合医(家庭医)資格取得後に、総合内科専門医資格取得の準備を行う事を前提にプログラムを策定し、指導する体制である。外科、整形外科、形成外科、救命救急科など、内科を標榜する予定のない者についても症例記録の書き方などについては同様の体裁をとるが、標榜科の専門医資格取得のためのキャリアパスを十分に考慮し、個人のプログラム作成に配慮する。

### E. 医療関係職種、保健・福祉関係職種、地域の住民、医療機関の利用者などの協力を得る方法

当院は基幹型初期臨床研修指定病院であり、若手医師育成に対する医療関係職種、保健・福祉関係職種の協力は既に確保している。また地域住民、医療機関の利用者などについては臨床研修病院であり協力いただく必要があることは明示済みである。なお、内科、小児科などの専門診療の外来・入院患者の診療にあたっては上級医との2人担当医制として実施し、以下のような文面をもって周知する。「当院では小児から高齢者など幅広い年齢層を診療できる総合医を育成する立場から、特定の診療科については専門医と総合医志望の医師が複数で患者様を診療する、担当医体制をとっております。複数医師による診療にご協力下さい。」

### F. その他

G. モデルとなるローテーション例

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	内科	内科	内科	内科	内科	内科	小児科	小児科	小児科	救急	救急	救急
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総診Ⅰ	総診Ⅰ	総診Ⅰ	総診Ⅰ	総診Ⅰ	総診Ⅰ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	総診Ⅱ	その他	その他	その他	その他	その他	その他

※「総診Ⅰ」、「総診Ⅱ」、「内科」、「小児科」、「救急」、「その他」という表記で記入してください。

H. プログラムの全体構成（月単位の換算による）

総合診療 専門研修	総合診療専門研修Ⅰ ( 6 )カ月		総合診療専門研修Ⅱ ( 12 )カ月	
領域別 研修	内科 ( 6 )カ月	小児科 ( 3 )カ月	救急科 ( 3 )カ月	その他 ( 6 )カ月

※救急科が兼任研修の場合の記載法：例えば内科8カ月、小児科4カ月の間週1回救急科研修したら、内科6カ月、小児科3カ月、救急科3カ月というふうに、本来の研修先の研修期間（この場合内科+小児科の12カ月）のうち救急科研修の期間をプログラムに必要な長さにとり、本来の研修先の研修期間（内科8カ月と小児科4カ月）は救急科研修の期間を減じた形（内科は8→6カ月、小児科は4→3カ月）で記載して下さい。

6-1. 総合診療専門研修 I				
研修施設名 1	可児とうのう病院	診療科名 ( 主に内科 )		
施設情報	<input type="checkbox"/> 診療所 <input checked="" type="checkbox"/> 病院	施設が病院のとき → 病院病床数 (200) 床 診療科病床数 ( 80 ) 床		
総合診療専門研修 I における研修期間		( 6 ) カ月		
研修期間の分割	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり			
※同一施設で3カ月以上ずつの2ブロックに分けることのみ可能。 「分割あり」の場合、研修期間の分割について具体的に記入して下さい。				
指導医氏名 1	伊藤 貴彦	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	( 2013-190 )
指導医氏名 2		<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	( )
指導医氏名 3		<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号	( )
※常勤指導医を確保できない場合、 <u>指導医の特例についての申請書</u> が必要 (審査有)				
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))				
<b>ケアの内容</b>				
<input checked="" type="checkbox"/> 外来診療：生活習慣病、患者教育、心理社会的問題、認知症を含めた高齢者ケアなど <input checked="" type="checkbox"/> 訪問診療：在宅ケア、介護施設との連携などを経験し、特別養護老人ホームでの診療を経験。在宅緩和ケアにも従事 <input checked="" type="checkbox"/> 地域包括ケア：学校医、産業医、地域保健活動などに参加				
<b>施設要件</b>				
<input type="checkbox"/> 患者層：研修医の経験する症例は、学童期以下が5%以上、後期高齢者が10%以上である。				
<input checked="" type="checkbox"/> 上記の要件を満たさないが、他の方法で研修を補完している。(※下記に具体例を記入ください) (週1回曜日を定め小児科外来診療に参加する。経験症例を記録し上記要件に合致するよう調整する )				
<input checked="" type="checkbox"/> アクセスの担保：24時間体制で医療機関が患者の健康問題に対応する体制をとっている。 具体的な体制と方略 (救急車受け入れは24時間体制。時間外も内科系・外科系各1名の当直体制をとっている。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 継続的なケア：一定の患者に対して研修期間中の継続的な診療を提供する。 具体的な体制と方略 (診療科の中では個々の患者は担当医がほぼ決まっており、外来、入院の移行もスムーズに行っている。複数科にまたがってもそのままfollowすることが可能である。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 包括的なケア：一施設で急性期、慢性期、予防・健康増進、緩和ケアなどを幅広く担当。 具体的な体制と方略 (小児から超高齢者まで幅広い年齢層に対し急性期、慢性期の外来、入院診療と予防医療を行っている。がん緩和ケアも外来、入院の双方で行っている。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 多様なサービスとの連携：必要な医療機関、介護・福祉機関などと適切に連携する。 具体的な体制と方略 (医療連携室には退院調整看護師を含む専任の看護師やケースワーカーがおり地域の医療、介護機関と密接な連携を行っている。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 家族志向型ケア：様々な年齢層を含む同一家族の構成員が受診する。 具体的な体制と方略 (電子カルテには家族構成を記載でき、家族関連を知ることができる。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 地域志向型ケア：受診していない地域住民への集団アプローチを計画的に実施する。 具体的な体制と方略 (数校の学校医を担当している。市からの委託で健診、予防接種を行っている。包括支援センターを併設しており介護支援もしている。保健師による住民保険指導もしており、研修医はこれらに参加し保険予防活動を考える機会がある。)				
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅医療：訪問診療の体制をとっている。患者の急変、緩和ケアに対応している。 具体的な体制と方略 (24時間体制の訪問看護ステーションを併設。さらに訪問診療部をもっており、訪問診療、在宅看取りも積極的に行っている。本人、家族が希望すれば緊急入院も可能である。)				
週当たり研修日数：( 5 ) 日				
総合診療専門研修 I の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数				
内容	小児科外来研修	小児科指導医： 月館幸一		
日数	26 日	1 日/週		

6-2. 総合診療専門研修Ⅱ			
研修施設名 1	JCHO 大阪みなと中央病院	診療科名 (内科総合診療部門)	
施設情報	病院病床数 ( 275 ) 床	診療科病床数 ( 90 ) 床	
総合診療専門研修Ⅱにおける研修期間		( 12 ) カ月	
研修期間の分割	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (分割について具体的に記入してください: )		
指導医氏名 1	辻 晋吾	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号 ( 2014-0959 )
指導医氏名 2	村田 浩昭	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号 ( 2013-36 )
指導医氏名 3		<input type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	指導医認定番号 ( )
※常勤指導医を確保できない場合、 <u>指導医の特例についての申請書</u> が必要 (審査有)			
要件 (各項目の全てを満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす ( <input checked="" type="checkbox"/> のように))			
<b>ケアの内容</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 病棟診療: 病棟は臓器別ではない。主として成人・高齢入院患者や複数の健康問題(心理・社会・倫理的問題を含む)を抱える患者の包括ケア、緩和ケアなどを経験する。 <input checked="" type="checkbox"/> 外来診療: 臓器別ではない外来で、救急も含む初診を数多く経験し、複数の健康問題をもつ患者への包括的ケアを経験する。			
<b>施設要件</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 一般病床を有する <input checked="" type="checkbox"/> 救急医療を提供している			
<b>病棟診療</b> : 以下の全てを行っていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者(特に虚弱)ケア 具体的な体制と方略(特段の問題を持つ患者についてはHCUにて対応。褥瘡、低栄養などにはケアチームで対応。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題を抱える患者への対応 具体的な体制と方略(地域医療連絡室、MSWなどを擁しており、適宜対応可能である。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じた専門医との連携 具体的な体制と方略(循環器内科、消化器内科、腎臓内科、一般外科、整形外科、形成外科などが院内にある)			
<input checked="" type="checkbox"/> 心理・社会・倫理的複雑事例への対応 具体的な体制と方略(通常の問題については診療科対応。複雑な事例には倫理委員会にて対応する取り決めである)			
<input checked="" type="checkbox"/> 癌・非癌患者の緩和ケア 具体的な体制と方略(研修参加者には緩和ケア研修を義務化。また院内に緩和ケア委員会があり適宜介入する。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 退院支援と地域連携機能の提供 具体的な体制と方略(地域医療連絡室を設け、看護師長、医事課職員、室長が連携し、地域連携を行っている。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 在宅患者の入院時対応 具体的な体制(地域医療連絡室を経て入院対応するが、市内医師会のブルーカード制度にも参加し随時対応する。)			
<b>外来診療</b> : 以下の診療全てを行っていること			
<input checked="" type="checkbox"/> 救急外来及び初診外来 具体的な体制と方略(内科初診外来を2診、整形外科初診外来は1診設置し、救急・時間外外来を2診持つ。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 臓器別ではない外来で幅広く多くの初診患者 具体的な体制と方略(内科初診受診者は10~20名/診。救急診療部門は2診あり救急搬送患者は常時受け入れる。)			
<input checked="" type="checkbox"/> よくある症候と疾患 具体的な体制と方略(感染症、胸痛、腹痛、骨折を含む外傷、吐血など多岐に渡る患者が来院しており問題はない)			
<input checked="" type="checkbox"/> 臨床推論・EBM 具体的な体制と方略(週末にEBMに関するカンファレンスを行っている。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 複数の健康問題への包括的なケア 具体的な体制と方略(呼吸器、糖尿病、神経内科等の専門医を非常勤医として招聘しコンサルト可能な体制を取る)			
<input checked="" type="checkbox"/> 診断困難患者への対応 具体的な体制と方略(必要時には指導医が適宜診療に参加し、助言する体制を取っている。)			
週当たり研修日数: ( 5 ) 日			
総合診療専門研修Ⅱの研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容	特別養護老人ホーム内の診療所での診療を行う。		
日数	1日/週		

6-3. 領域別研修：内科			
研修施設名 1	JCHO 大阪みなと中央病院	病院病床数 ( 275 ) 床	診療科名 ( 内科 )
領域別研修 (内科) における研修期間		( 6 ) カ月	
指導医氏名 1	川田 典孝	臨床経験年数 ( 23 ) 年	
有する認定医・専門医資格	日本内科学会総合内科専門医		
要件 (各項目を満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))			
<b>ケアの内容</b>			
■病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する。			
<b>施設要件</b>			
■医師法第 16 条の 2 および関係省令で定める基幹型または協力型臨床研修病院である。			
■内科病床数が 50 床以上ある。( 90 ) 床			
■内科常勤医が 5 名以上いる。( 14 ) 名			
■後期研修プログラムの認定に関する細則第 9 条(5)に定める指導医が病院全体として 3 名以上いる。( 4 ) 名			
週当たり研修日数：( 5 ) 日			
領域別研修 (内科) の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容	療養型病院または特別養護老人ホームでの診療を行う。		
日数	1 日/週		

研修施設名 2		病院病床数 ( ) 床	診療科名 ( )
領域別研修 (内科) における研修期間		( ) カ月	
指導医氏名 1		臨床経験年数 ( ) 年	
有する認定医・専門医資格			
要件 (各項目を満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))			
<b>ケアの内容</b>			
□病棟診療：病棟での主治医として主に内科疾患の急性期患者の診療を幅広く経験する。			
<b>施設要件</b>			
■医師法第 16 条の 2 および関係省令で定める基幹型または協力型臨床研修病院である。			
■内科病床数が 50 床以上ある。( ) 床			
■内科常勤医が 5 名以上いる。( ) 名			
■後期研修プログラムの認定に関する細則第 9 条(5)に定める指導医が病院全体として 3 名以上いる。( ) 名			
週当たり研修日数：( 5 ) 日			
領域別研修 (内科) の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容			
日数	1 日/週		

※研修施設が 2 箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること。

6-4. 領域別研修：小児科			
研修施設名 1	JCHO 大阪みなと中央病院	病院病床数 (275) 床	診療科名 (小児科)
領域別研修 (小児科) における研修期間		(3) カ月	
指導医氏名 1	赤木 幹弘	有する専門医資格 (日本小児科学会専門医)	
要件 (各項目を満たすとき、□を塗りつぶす (■のように))			
<b>ケアの内容</b>			
■外来診療：指導医の下で初診を数多く経験し、小児特有の疾患を含む日常的に遭遇する症候や疾患の対応を経験する。			
■救急診療：指導医の監督下で積極的に救急外来を担当し、軽症、1次救急を中心に経験する。			
■病棟診療：日常的に遭遇する疾患の入院診療を担当し、外来・救急から入院に至る流れと基本的な入院ケアを学ぶ。			
<b>施設要件</b>			
■小児領域における基本能力 (診断学、治療学、手技等) が修得できる。			
■小児科常勤医がいる。 (1) 名			
週当たり研修日数：(5) 日			
領域別研修 (小児科) の研修期間中に週1回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容	療養型病院または特別養護老人ホームでの診療を行う。		
日数	1日/週		

※研修施設が2箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること。

<b>6-5. 領域別研修：救急科</b>			
研修施設名 1	JCHO 星ヶ丘医療センター	病院病床数 ( 580 ) 床	年間救急搬送件数 ( 2,600 ) 件
指導医氏名 1	森川 和要	有する専門医資格(脳神経外科指導医)	専従する部署 ( 救急部 )
ブロック研修、兼任研修のいずれかを選択し、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (■のように)			
<input checked="" type="checkbox"/> ブロック研修 →領域別研修(救急科)における研修期間 ( 3 ) カ月 <input type="checkbox"/> 兼任研修 →どの研修と組み合わせるか ( ) 週あたり研修日数 ( ) 日、研修期間 ( ) カ月 ※兼任研修の場合、「5. 概要」の「H. プログラムの全体構成」の記載との整合性を保つこと			
要件 (各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (■のように))			
<b>ケアの内容</b>			
■救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する。			
<b>施設要件</b> (下記のいずれかを満たす)			
<input type="checkbox"/> 救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設			
■救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関 (救急搬送件数が年に 1000 件以上)			
週あたり研修日数：( 5 ) 日			
領域別研修 (救急科) の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容			
日数 日/週			

研修施設名 2		病院病床数 ( ) 床	年間救急搬送件数 ( ) 件
指導医氏名 1		有する専門医資格 ( )	専従する部署 ( )
ブロック研修、兼任研修のいずれかを選択し、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (■のように)			
<input type="checkbox"/> ブロック研修 →領域別研修(救急科)における研修期間 ( ) カ月 <input type="checkbox"/> 兼任研修 →どの研修と組み合わせるか ( ) 週あたり研修日数 ( ) 日、研修期間 ( ) カ月 ※兼任研修の場合、「5. 概要」の「H. プログラムの全体構成」の記載との整合性を保つこと			
要件 (各項目を満たすとき、 <input type="checkbox"/> を塗りつぶす (■のように))			
<b>ケアの内容</b>			
<input type="checkbox"/> 救急診療：外科系・小児を含む全科の主に軽症から中等症救急疾患の診療を経験する。			
<b>施設要件</b> (下記のいずれかを満たす)			
<input type="checkbox"/> 救命救急センターもしくは救急科専門医指定施設			
<input type="checkbox"/> 救急科専門医等が救急担当として専従する一定の規模の医療機関 (救急搬送件数が年に 1000 件以上)			
週あたり研修日数：( ) 日			
領域別研修 (救急科) の研修期間中に週 1 回などのペースで並行して行われる研修の内容とその日数			
内容			
日数 日/週			

※研修施設が 2 箇所以上にわたる場合、上記内容をコピー&ペーストして記載すること。

6-6. 領域別研修：その他						
研修領域	必修・ 選択別	ブロック・ 兼任の別	研修日数/週 (兼任の場合)	研修期間	研修施設名と 診療科名	指導医氏名
一般外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 外科	遠藤和喜雄
整形外科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 整形外科	大野一幸
精神科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	水間病院 精神科・認知症 疾患センター	河崎建人
産科婦人科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪病院 産科婦人科	筒井建紀
皮膚科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 皮膚科	西井芳夫
泌尿器科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 泌尿器科	安永 豊
眼科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 眼科	壇上幸孝
耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 耳鼻咽喉科	竹林宏記
放射線科 (診断・撮影)	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 放射線科	橋本 達
臨床検査・ 生理検査	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 臨床検査部	山元博義
リハビリ テーション	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 リハビリテーション科	大野一幸
形成外科 ( )	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 形成外科	藤山 浩
人工透析 ( )	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択	<input checked="" type="checkbox"/> ブロック <input type="checkbox"/> 兼任	( 5 ) 日/週	( 3 ) カ月	JCHO 大阪みなと中央病院 人工透析センター	越智 聡

### 7. 後期研修医の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、評価計画等具体的に）

研修期間 36 ヶ月中で 33 ヶ月以上の研修勤務実績を有すること、月毎に指導医による 5 段階評価を行い 1 点（不可）が全体の 5%未満である事を研修修了の要件とする。ただし研修医に対するフィードバックの結果、評価が上昇した場合はその診療科での最終評価点で評価を行う。総合診療研修 II については同フロアにいる指導医が診療内容の確認と評価を行う。毎年、同僚、上級医、指導医によりポートフォリオ評価を行い、他者評価（各部門スタッフ）を交え、ふり返りを行う。外来、入院、在宅医療について経験症例数、内容を考慮し、学会所定のポートフォリオ事例報告で取りまとめた内容を中心に総括的評価を行い、院内設置の研修委員会で修了認定を行う。

### 8. プログラムの質の向上・維持の方法

年度末に各年次の後期研修医が匿名で、改善すべきプログラムならびにその改善策、前年度から変更したプログラムに対する満足度と指導医の評価を行う。これらの評価結果を、後期研修医代表者を含めた研修プログラム委員会において検討し、プログラムを改訂する。